

就職活動をするに当たって最も大切なことは、自己分析である。よく自己分析の仕方が分からないという悩む人が多いと思うが、自分の志望する企業を受けていくうちにだんだん分かってくる。この企業は自分に合うと思うことがあれば、自分に合っていない企業であると思う時もある。

私の場合、企業を受けていくうちに自己分析の軌道修正を行った。最終的に、美容業界に就職が決まったが、やはり、自分に合った企業を探すことが重要であると思う。自分は、本当はこういうことに興味があったのかと気付くことが必要である。ただ闇雲に企業を回ると、それなりの結果しか生まれない。なぜなら、採用担当者の方々は、毎年、大勢の新卒者を見ているからだ。

次に、重要なこととして、一貫性のある面接をすることだ。自分を持っている人はそれを出し切れればよいと思う。これは、エントリーシートでも同じことがいえる。例として、これまで大学生活の中で主に 3 つのことについて取り組んできました。そこからこういうことを学びました。そのような経験からこういうことをしていきたいです。これからも、そのような点をこういうふうに生かしていきたいです。という論理的なエントリーシートでなければ、採用者は目にしない。それと同時に、面接では特に今までやってきたことに一貫性があるのかをチェックする。私の受けた美容業界では、「今までの自分とこれからの自分」というテーマのもとに論文をその場で書いた。つまり、自己分析がちゃんとできているのかを見るのである。

これら 2 つのことから、自分が気付くか、気付かないかが運命を決める。採用担当者の気持ちになったつもりでこれらのことに気を付けながら、最後まで頑張ってください。